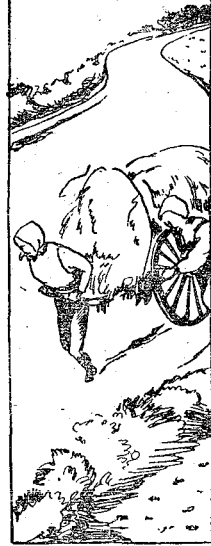


# 地方 通信



## 東京府下環狀道路近

く著工

東京市足立區待望の幅員廿八米、延長八千米の環狀線道路が愈々東京市の手で近く起工する。開鑿豫定線は同區と荒川區境の新田上町を起點に荒川放水路を横斷、北堀ノ内、上沼田、西新井大師前、烏根町、栗原町から綾瀬川を横切り大谷田を経てすでに竣成した葛飾區の環狀線道路と結び葛飾は江戸川區と連結しこの路線に向島、城東兩區の環狀線もまた結ぶこととなるので五區の一環道路が竣成すれば交通地獄の一掃に大いに役立つ譯である。一方今回著工することに決つた足立區堤北方面(荒川放水

路以北)は從來「南北」貫通道路が數本あつて何れも隣接縣と連絡を保つてゐるが「東北」に貫通する道路は皆無に等しく殊に市電、市バス路線はもちろん私營軌道も皆無といふ文字通り「脚のない街」を現出してゐるので環狀線道路完成後は同區地元區民を始め荒川、葛飾、江戸川、向島、城東六區百萬市民に脚の一大福音を齎す事とならう。

## 道路網へ愛護の鍬

長野縣北佐久郡では縣下のトップをきつて從來の道路愛護會を再編青壯年團を主體に臨戦の構へを完了秋晴れの十月三日岩村田土木出張所管内女子青少年團をも交へた

二十八團體は一齊に曉の動員を敢行して終日郷土の道路網へ愛護の鍬を揮つたがこの日縣から森田道路課長根本道路主事等が來郡岩村田宮田土木出張所長以下各係りと手わけで作業ぶりを視察督勵した。尙再編された翼賛道路愛護會は從來の奨勵金補助金獲得主義を一擲して自ら進んで災害を防止軍事上産業開發上道路愛護の觀念を増強新らしき時代の郷土建設へ邁進しようとするもので従前の如く僅かの破損にも縣費補助を仰いだ事を止め自分たちの力で復舊を誓ふなど全くこの種團體の面目を一新した。このため中佐都村字根々井では三日河川愛護會まで結成され常時河川の清淨に努め水害防止に乗り出す事になつた。

## 下關から

民間のガソリン使用凍結によつて『木炭自動車時代』を現出、國策一路の遅しい躍進振を發揮してはゐるものゝ木炭自動車と現在道路の關係を考察する時ガソリン自動

車時代よりは全國的に見て道路の勾配により能率が低下し木炭自動車の勾配道路進走においてその性能はガソリン自動車よりは著るしくスピードが落ちあらゆる方面に苦澁を舐めつゝあるが西日本國營土木工事を統轄する内務省下關土木出張所では木炭自動車を現在道路マツチさせるべく全國に廻けて道路の勾配の緩和に重點を置いて今後國道改良工事を進めることになり、本月末三日間出張所管内で實施する重要道路整備調査にこれが計畫の參考資料を蒐集する一項目を加へ鋭意研究をつづけてゐる。

この道路勾配の緩和工事は木炭自動車が永久的でないとしても再びガソリン自動車の時代が到來した場合におけるガソリンの消費節約量は莫大數に上ること確實とされスピドアップの點等國道建設の意味においてこの計畫は近代道路技術を先行する斬新な土木工事施工法の革命とされやがては西日本から「喘べぐ自動車」が姿を消し去らうと期待を呼んでゐる。

## 高知縣下道路愛護に

### 熱汗

今夏高南を襲へる豪雨のため府縣道七里與津線は橋梁流失崩土路側缺所等續出し加ふるに與津坂八軒間の如きは道形なく小谷と化し當局においてもこれが復舊に苦慮してゐた處與津村當局常會長等が自發的に申

合せをなし道路愛護の實績を擧ぐべく右八軒間を五區に分ち十月四、七、八、九、十の五日間毎日午前七時作業開始午後三時終了、延人員三百三十餘名にて路面缺所に嶽土入、崩土取除、溝浚、除草等の作業に村當局常會長の統制の下に勤勞奉仕の熱汗を捧げたので土木當局を感激せしめ一般交通人より感謝されてゐる。

ある老人は一驛乗り越した切符を出して叱り飛ばされた。こんな例はざらにある。電車の車掌などの傲慢なやり方、不親切な取扱ひ朝夕見兼ねる程である。これは乗客の我儘もあり、勝手なこともあり、雑沓、満員の場合、従業員の心の尖るのも無理もないと思ふ。

乗客側の悪い態度については従業員以上のもがある。雑沓の列車、電車の中で大きな荷物を客席へ置き、人がいくら困つてゐても除けようとなし。中には狸寝入もあり、起されてブン／＼する輩もある。少し位のことでは隣客と衝突し、

車掌に突つかゝり、酩酊して騒ぎ立てるなど他人の迷惑を省みざる不都合の行爲は全く驚くべきものがある。殊に甚だしきは唾痰を吐きちらし、辨當その他の食物の殻、皮の類を無雜作に捨てる。不潔目を蔽はしむものがある。

近來昇降一列勵行もあるが我先の惡習は根絶が出来ない。中には降り口に立つて昇降の邪魔になるも平氣な人物がある。乗務員亦これを制し得ないので益々混雜するのである。日本國民の公德心缺乏は全くお話の外である。